

## 第6学年 図画工作科学習指導案

期 間 平成14年9月6日～9月17日

児 童 一戸町立一戸南小学校第6学年

男子18名 女子9名 計27名

指導者 荒木 眞智子(長期研修生)

### 1 題材名

- 美術作品を見つめよう -

これってなあに？ (作品との対話型の鑑賞活動)

### 2 題材の目標

- (1) さまざまな作品に触れて美術作品に関心をもち、よさや美しさを自分なりにとらえようとする。
- (2) 作品をみて、発想の意外性、形の面白さ、大きさや材料の工夫、色や光の美しさなどに気付き、自分の思いを表現したり伝え合ったりしながら作者の思いを想像できる。

### 3 題材設定の理由

#### (1) 題材について

この題材は、学習指導要領の第5学年及び第6学年の内容「B 鑑賞(1)『作品などを鑑賞し、それらのよさや美しさに親しむようにする。』」により設定したもので、独立して行う鑑賞学習の題材である。美術作品を見ると、感じ方や見方はさまざまである。それぞれの感じ方や見方でじっくりと作品と対話するように鑑賞し、造形的な要素から作者の思いを想像することで作品のよさや美しさを感じ取ることをねらいとしている。「これってなあに？」と疑問を投げかけるようにしながら作品と対話をはじめ、「なるほど、～がいいね。」と受け止めたり、「自分だったらこうする。」と自分の思いを表現する活動をとおして作者の思いにせまっていく。

作品のよさや美しさを感じ取ることができた児童は、次の自分の表現活動へ生かしていくことができると考える。また、自分なりの感じ方や見方でよいということは、自分に自信をもつことや友だちの感じ方や見方も認めることにつながるものである。そして、身近にある作品や自然の美しさに目をとめ、進んで鑑賞しようとする態度が育っていくことを期待するものである。

そこで、多くの美術作品を用いて作品に親しんだり、より身近に感じることができる地域の美術作品を用いて自分の思いをふくらませたりしながら、自分なりの感じ方や見方を深めていくことができるように本題材を設定した。

#### (2) 児童の実態

児童は、製作することを楽しみ、思い思いに表現しようとしている。しかし、なかには、

自分の表現に自信がもてなかったり、積極的に作品のよさや美しさを見つけだして楽しもうという気持ちが十分でなかったりする児童もいる。作品の見方も広がりや深まりがあまりみられない。また、地域に美術作品があっても話題にしてみようという児童も多くはない。

そこで、できるだけたくさんの美術作品をみる経験を増やし、関心を高めるとともに、作品の多様性に気付かせて自分の感じ方や見方に自信をもたせていきたい。さらに、地域にあるデザイン館を利用して、地域にゆかりのある福田繁雄作品の楽しさを味わわせることで、身近な作品に目を向けさせていく。また、美術作品が名作の絵画ばかりではないことにも気付かせていきたい。

### (3) 指導にあたって

児童が、楽しく作品の多様性に気付くことができるように、「出会う」過程では、話しやすい雰囲気をつくったうえで、ゲームなどの遊びをとおして多くの作品に触れ合わせる。さらに、福田繁雄デザイン館では、作品をまねたり、作品に触れたりする活動をとおしながら、自分の気に入った作品を見つけださせる。気に入った理由を探るように見つめることで、造形的な要素に目を向けさせていく。

「対話する過程」では、数点の福田繁雄作品の中から、自分の気に入った作品を選ばせ、その作品と対話させる。そのとき、「自分だったらこうする。」という思いをもてるように、色を付けたり、形をアレンジしたりするユーモアアップシートや作品の登場人物になって言葉をイメージして書くユーモアアップカードを用意する。表現したシートやカードは、友だちと交流させ作品に対する感じ方や見方を深めさせる。さらに、作品についての情報を与えたうえで、造形的な要素をもとに作者の思いを想像させる。そのとき、作者と対話するような気持ちで書くことができるような対話カードを用意する。そして、それぞれがとらえた作者の思いを交流する活動を行わせることで、作品がそれぞれのとらえ方で自由に鑑賞できることやいろいろな感じ方や見方があることを感じさせたい。

「広げる」過程では、自分が感じ取った作品のよさや美しさを確かめながら再度作品を見つめ直させ、作品のよさや美しさを十分に味わわせたい。

## 4 指導計画 —— 6時間(270分)

- |     |                       |       |       |
|-----|-----------------------|-------|-------|
| 第1次 | アートでゲーム               | ————— | (75分) |
| 第2次 | お気に入り作品を見つけよう大作戦      | ————— | (45分) |
| 第3次 | ユーモアアップミュージアムでイメージアップ | ——    | (60分) |
| 第4次 | 見つめて、感じて、味わおう         | ————— | (90分) |

## 5 準備

教師：ポケットミュージアム(鑑賞カード、大型カード)、福田作品のカード、学習カード  
画用紙(6枚)、ピアスケッチ用図版、ストップウォッチ、マジックペン、チェックリスト、ユーモアアップカード、ユーモアアップシート、対話カード、作品についての説明板、クレヨン、クーピー、絵の具、作業テーブル、付箋紙、立体説明図

児童：クレヨン、クーピー、筆記用具

6 本時の指導

(第1次 アートでゲーム)

(1) 本時のねらい

ゲームやクイズをとおして美術作品への関心を高め、お互いの感じ方や見方を認め合いながら作品の多様性に気付く。

(2) 本時の準備物

教師：ポケットミュージアム（鑑賞カード、大型カード）、福田作品のカード、学習カード、画用紙（6枚）、ピアスケッチ用図版、ストップウォッチ、マジックペン  
 児童：クレヨン、クーピー、筆記用具、探検バック

(3) 本時の展開

網掛けの部分 は手だてにかかわる活動等である

過程	学習活動および内容	予想される児童の反応	○教師の指導 援助 評価
導入 15分	1 ピアスケッチを楽しむ ・グループごとに1枚の絵を交代で見て記憶したものを再現して描く	・みんなで思い出すとかけるもんだね	○ 図版は廊下にあらかじめ貼っておく 思い出せない場合は、もう一度見せるようにする
<b>遊 び な が ら い ろ い ろ な 美 術 作 品 を 見 て 楽 し む</b>			
展開 50分	3 カードゲームをする (1) カルタゲーム ・グループごとにポストカードタイプの鑑賞カードによるカルタ遊びをする (2) 分類ゲーム ・自由な観点でカードを分けながら分類の根拠を明らかにする (3) ゲーム・ポイントゲット ・グループで相談し、テーマに合った1枚を選び出し、ポイントを取り合う	・どの絵が合っているのかなあ ・これかな、こっちかな、見つけた。形でわかった ・暗い雰囲気と明るい雰囲気に分けよう ・写真みたいなものとそうでないものに分けよう ・力強いのはこの線の太さや色からわかるよ	○ 少人数グループを編成し、各グループにカードを20枚配布し、交換して使わせる なかなか見つけることができない児童には、見るポイントを指導する ○ グループ発表とし、判定させる。判定基準は、根拠が明確で、分類に納得できたかとする 幅広くとらえさせるために、観点を自由にする ○ 明確な根拠が多いグループにポイントが入るようにする
終末 10分	4 大型カードのクイズをする 5 本時の学習の感想を書く	・女王のようだね、着てる服が華やかな色で描かれてる ・左右対称の描き方だ。どっしり落ち着くね ・同じ作品でも違う見方ができる ・美術作品を見るって楽しい ・使う色や描き方で印象が変わる	ゲームの仕方を理解し、根拠をもって説明しようとしているか（観察、発言分析） ○ 友だちの答えに共感していることを認める 自分の考えと友だちの考えを比べながらお互いの感じ方や見方を認めようとしているか（観察、発言分析） ○ 作品はいろいろな見方ができることや作品は色や形、構図等で印象が変わることを確認する 作品はいろいろな角度で見ることができる（学習カード）

(第2次 お気に入り作品を見つけよう大作戦)

(1) 本時のねらい

福田繁雄デザイン館で多くの福田作品を楽しく鑑賞し、発想の意外性や形の面白さ、大きさや材料の工夫、色や光の美しさなどに気付く。

(2) 本時の準備物

教師：チェックリスト

児童：筆記用具、探検バック

(3) 本時の展開

過程	学習活動および内容	予想される児童の反応	○教師の指導	援助	評価
導	1 デザイン館内の鑑賞の仕方を 知る	・人に迷惑をかけないことが大事だね	○ 静かにみることに、すべての作品を一度はみることを確認する		
入	2 本時の課題をつかむ				
5分	<b>自分のお気に入りの作品を見つけよう</b>				
展	3 作品をみて回る ・館内を自由にみて回り、自分の気に入った作品を探す	・不思議な作品だな ・わあ、面白い作品 ・よく考えたよね ・きっと、モナリザは「私は世界のモナリザよ」と言ってる		○ チェックリストを活用させ、触れたり、まねたりしながらお気に入り作品を選ばせる	関心をもって自分のお気に入りの作品を見つけようとしているか(観察、発言分析)
開	4 自分が一番お気に入りの作品を見つけ、その理由を書く	・アイデアがとても面白かったから ・形をうまく組み合わせているからすごいと思った ・影の作品を作ろうという発想と材料にフォークとナイフを使用しているのが素晴らしい		○ 造形的な要素に目を向けることができるように、具体的に「どこが」「何が」気に入ったのかを書くことを指導する	福田作品のどういうところが気に入ったのか、その造形的な要素を明らかにすることができているか(チェックリスト)
5分	5 選んだもの別にグループを作り選んだ作品とその理由を発表し合う	・なるほど、そういうところがいいと思ったんだね ・作品にはたくさんいいところや美しいところがあるんだね		○ 友だちの考えをじっくり聞くことができるように少人数グループを編成する	○ 作品のよさや美しさを確認する
終	6 今日の学習のまとめをする ・感じたことや思ったことを発表する	・福田作品のよさや美しさは、発想や形の面白さ、光と影の美しさなどいろいろあることがわかった			○ 自分の考えと友だちの考えを比べながらお互いの感じ方や見方を認めようとしているか(観察、発言分析)
末					
5分					

(第3次 ユーモアップミュージアムでイメージアップ)

(1) 本時のねらい

自分の選んだ作品と対話しながら、自分の思いを表現したり伝え合ったりしながら作者の思いを想像する。

(2) 本時の準備物

教師：福田作品（十数点）、ユーモアップカード、ユーモアップシート、対話カード、作品についての説明板、クレヨン、クーピー、絵の具、作業テーブル、付箋紙、立体説明図

児童：筆記用具

(3) 本時の展開

過程	学習活動および内容	予想される児童の反応	○教師の指導 援助	「評価」
導入 10分	1 前時までの学習で学んだことを思い出す ・作品の見方や感じ方が自由でよかったことや気に入った理由を探ることよさや美しさが見えてくることを発表しよう	・作品はそれぞれの見方や感じ方でいいんですね ・どこが、どうして気に入ったのかを考えることで作品のよさや美しさがよく見えてきます	○ 自分なりの感じ方や見方で作品をみることを思い出させる ○ 造形的な要素に着目することを意識付ける ○ 対話の方法を確認する 印象で見つける 気に入った理由を探る いいところや疑問に思ったところを語りかける（つもり） 自分の考えをふくらませる	
	<b>作品と対話しながら、自分の思いを表現しよう</b>			
展開 40分	3 自分の気に入った作品を選び、その理由を考える	・色がたくさんあってにぎやかな感じが出ているからいいな ・だまし絵みたいに、形や色をうまく組み合わせて面白さを表現しているところがいいね	造形的な要素に目を向けるように、具体的に「どこが」「何が」気に入ったのかを作者に語りかけるように指示する 根拠を明らかにしながら、好きな作品を見つけようとしているか（観察）	
	4 「自分だったらこうする」「自分が～だったら」と考え、ユーモアップシートやユーモアップカードに表現しながら、自分なりの感じ方や見方を深める	・私は、黄色を塗りたいな、もっと明るい世界にしたいから ・こんな風にアレンジしたらスピード感が出るだろうな ・この地球は「僕を壊さないで」と言ってるようだ	色をぬるユーモアップシートや形をアレンジして描くユーモアップシート、描かれている人物（もの）の気持ちを想像して書くユーモアップカードを用意する アレンジして立体を描画する場合のヒントを掲示しておく 自分なりの考えや感じたことをもとにしながら表現しているか（ユーモアップカードやユーモアップシート）	
終末 10分	5 表現したものをお互いに説明する	・なるほど、そういう考えでこの色を使ったんだね	少人数グループで話し合わせる 自分なりの考えをもっとみると、また違ったとらえ方ができることを確認する	
	6 学習のまとめをする	・作者の考えを感じられそう		

(第4次 見つめて、感じて、味わおう)

(1) 本時のねらい

作者の思いを想像しながら、作品を見つめ直し、作品のよさや美しさを味わう。

(2) 本時の準備物

教師：付箋紙、対話カード

児童：筆記用具

(3) 本時の展開

過程	学習活動および内容	予想される児童の反応	○教師の指導 援助 評価
導入	1 前時に想像した作者の思いを確認する	・作者の伝えたかったことを想像したね	○ 一人一人じっくり確認させ、付箋紙に記述することを確認する
15分	2 本時の課題をつかむ	・～さんの考えもよかったね	
	<b>作品と対話し、作者の思いを想像しよう</b>		
展開	3 作品の題名や解説を読む	・この作品はこういう題名だったんだ ・このポスターは～のために作られたんだ	作品のそばに題名や解説を記入したカードを掲示しておく 作者が思いを込めて表現したものが作品であることをおさえる
	4 作者の思いを想像し対話カードに書く	・作者が伝えたかったことは助け合うってすてきだということだと思う。それは、手が大きく描かれて、全体の色が力強く描かれているから	作者の存在を意識させることで、想像しやすくする 造形的な要素をもとに作者の思いを想像できているか(対話カード)
45分	5 作者の思いを交流する	・そういう考え方もいいね ・作者の思いを想像するとよさや美しさを感じ取れるね	お互いの感じ方や考え方で同じところや違うところを比べて聞き合うように助言する 少人数グループで交流させた後、広める 自分の考えを話したり、友だちの考えを比べながら聞こうとしているか(観察)
	6 作品やユーモアアップシート、カードを見つめ直し、作品のよさや美しさを感じ取る	・自分と友だちのとらえ方って違うけど、それぞれいいね ・作者の思いを想像しながらみると、いろいろなことを感じるね	○ 友だちの考えに共感したなら、付箋紙を貼らせ認め合うようにする 友だちの感じ方や見方を認めようとしているか(付箋紙)
30分	7 学習のまとめをする	・作品鑑賞って楽しい ・作品は、いろいろな視点で見るとよさが伝わってくる	感想を発表させる

7 評価

(1) さまざまな作品に触れて、美術作品に対する関心が高まったか。

(2) 進んで自分のお気に入り作品を見つけ、よさや美しさを自分なりにとらえようとしたか。

(3) 自分の考えたことや感じたことを表現したり、友だちに伝えようとしたりしたか。

(4) 発想の意外性、形の面白さ、大きさや材料の工夫、色や光の美しさなどの造形的な要素に目を向けながら作者の思いを想像できたか。